



1月31日 横地申4号 「2022年3月ダイヤ改正」に 関する申し入れ団体交渉を行う！

1. 2022年3月ダイヤ改正におけるこれまでとの変更点や改善点、安全性や利便性、快適性の向上について具体的に明らかにすること。

回答:土休日の南武線快速運転時間帯の拡大や、特急列車では停車駅を追加する等、利便性の向上を図る。

(組合) 安全性については。

(会社) 安全はトッププライオリティーという考え方は変わらない。ホームドアの導入。相模線全駅にCPラインを進めている。厚木駅に列停を設置等安全面の向上を図っている。

(組合) お客さまの生活様式の変化による影響は。

(会社) お客さまの行動変容を捉えて輸送品質を変えている。

(組合) 保守間合いの拡大による成果は。

(会社) 作業時間が増えたことによりゆとりができ作業がしやすくなった、効率が良くなったと聞いている。

(組合) オフピーク通勤の状況は。

(会社) JREポイントを付与して懲慥しているが、京浜・横須賀・東海道線では7割しか戻っていない。今後の乗車率を予測しながら輸送体系を見直した。

(組合) 箱ダイヤのみでは行先が分からない。有意義な議論が出来ない。提案資料としてクロス・運行図表を提示してほしい。

(会社) 現段階では提示する考えはないが、ご意見として承る。

2. 標準数から出面数へ変更が示されているが、必要な要員が不透明になり休日出勤増加などの労働環境の悪化が懸念される事から現在の超過勤務、休日出勤のデータを明らかにしこれまで通り標準数に戻すとともに、乗務員については「運転士」「車掌」と分けて示すこと。

回答:現業機関での柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、現業機関における業務量 については、年間を通した平均的な業務量の基準として、「変形等」「交代」「乗務員」の1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を「管理・一般」に分けて示したものである。なお、必要な要員は確保していく考えである。

(組合) 標準数として表さない理由は。

(会社) 今後は回答で示した考え方。

(組合) 標準数はあるのか。

(会社) 作業ダイヤ数で示し、要員管理をして行く。

(組合) 業務量＝出面数でよいか。

(会社) そうした形で管理して行く。年間を通して業務の繁閑があるので、柔軟な要員配置が出来るように